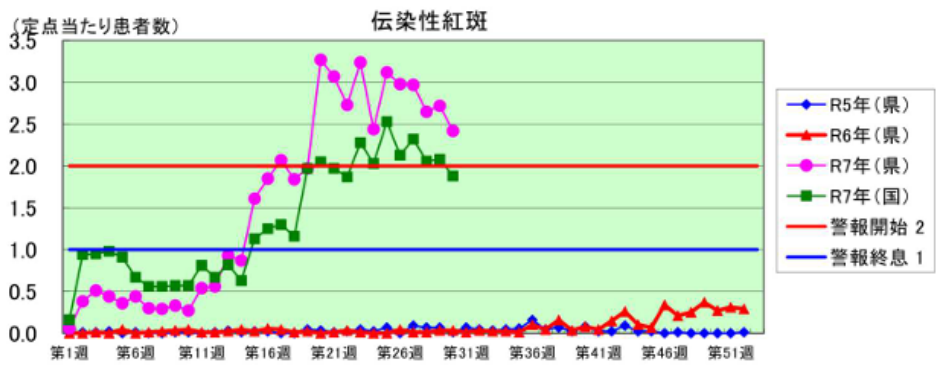


ヒトパルボウイルス B19 感染症

本康医院 本康宗信・静岡薬剤耐性菌制御チーム
静岡県立静岡がんセンター 感染症内科 倉井華子

静岡県内では百日咳とともに伝染性紅斑の流行が続いています。小児科定点で第30週 2.42 の報告と少し下り坂ですが、年長者も含めると更に多いと思われます。



(https://www.pref.shizuoka.jp/res/projects/default_project/page/001/068/844/2025idwr30.pdf) 静岡県感染症週報 2025 年第 30 週 7/21~7/27 より

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルス B19 感染症の臨床症状として最も多く、小児では頬部紅斑、上下肢のレース状紅斑が特徴的です。小児に発疹をきたす感染症では麻疹(第 1 病)、猩紅熱(第 2 病)、風疹(第 3 病)、デューク病(第 4 病)、突発性発疹(第 6 病)に対して第 5 病(fifth disease)とも呼ばれます。伝染性紅斑の他に様々な臨床徴候がありますが、液性免疫が関与するため、免疫不全者では特に注意が必要です(表 1)¹⁾

表 1 パルボウイルス感染症の臨床徴候

疾患	宿主の特徴
伝染性紅斑	免疫正常な小児、時に成人
多発性関節症候群	免疫正常な成人
慢性貧血・赤芽球癆	免疫不全者
一過性無形成クリーゼ	溶血性貧血 (遺伝性球状赤血球症、鎌状赤血球症など)
胎児水腫・先天性貧血	胎児(妊娠20週以前で高リスク)
出血斑・丘疹紫斑様 手袋靴下症候群	免疫正常な小児および若年成人

今年は、小児での流行を反映してか、未罹患の保護者や若年成人での発症者を経験します。抗体陽性率は、若年成人の約 50%、高齢者では 90%以上とされていますので成人でも既往のない方は感染する可能性があります²⁾。成人では、紅斑を主訴とすることが少なく、診断しにくいことがあります。小児と成人の差異を簡単に示します(表 2)。

表 2 パルボウイルス感染症における小児と成人の特徴

	小児	成人
発疹	頬部は明瞭 レース状	淡い、目立たない 四肢＞体幹＞頬部
全身症状	微熱	発熱、関節痛、下腿浮腫 倦怠感、小児より強い
診断の契機	保護者による 皮疹の指摘	小児との接触 二峰性の症状経過

2025 年の流行は夏季になっても続き、日焼けしている方も多く、成人では紅斑が目立たないことがあります。典型的な病歴は二峰性で、発熱、頭痛などが見られた後、7~10 日後に左右対称の多発関節痛、四肢の浮腫が認められます。受診時に皮疹が明らかでなくても、入浴後に紅斑が出現することがあります。また掻痒感のみを言われることもあります。手指の浮腫と関節痛は、時に手のこわばりと表現されることもあり、関節リウマチや全身性エリテマトーデス(SLE)などの膠原病との鑑別が必要になることがあります(表 3)。血液検査では抗核抗体、抗 ds-DNA 抗体、リウマチ因子の陽性化、低補体価の見られることがあります³⁾、SLE に見られる脱毛、円板状皮疹、レイノー現象などは見られず、関節症状や発熱も短期間で治まります⁴⁾。

パルボウイルスは、赤血球系前駆細胞と赤芽球のアポトーシスを誘導し、一過性の造血能低下が起こります。赤血球寿命が正常な方では 1 週間程度で造血が再開されますが、溶血性貧血では赤血球寿命が短いため高度の貧血をきたします。また免疫抑制者では、ウイルスの持続感染がおこるため、慢性貧血、赤芽球癆を起こすことがあります。

表 3 パルボウイルス感染症と鑑別を要する疾患

膠原病(関節リウマチ、SLE、皮膚筋炎など) リウマチ性多発筋痛症、RS3PE症候群 血管炎 脊椎関節炎 急性糸球体腎炎 デング熱、チクングニア熱、急性肝炎(渡航歴あり)
--

成人では罹患歴と周囲の流行状況に留意します。家族内で小児の罹患がある場合や保育士、教師や病院職員では小児との接触歴があるので、注意が必要です。これらの背景に加えて急性発症の対称性多関節炎、二峰性の臨床経過があることが臨床診断につながります。

パルボウイルス B19-IgM 抗体の測定は、紅斑のある 15 歳以上の成人に保険適応がありますが、紅斑が出現するのは抗体が産生される頃であり感染性は乏しいので、血清学的に確定診断を必要とする場合は、限られていると考えられます。妊婦の初感染では、20~30%に経胎盤感染を起こします。胎児水腫、胎児死亡は 2~10%に認められるため、妊婦での診断が困難な場合には抗体検査を要する場合があります。

伝染性紅斑は小児に多い疾患ですが、成人の場合には不明熱や原因不明の関節炎として現れることがあります。流行期には、成人のパルボウイルス感染症の特徴に留意し、多種類の検査を同時に行うことや、とりあえずの抗菌薬投与はしないようにしたいものです。

- 1) 齋藤昭彦編:ヒトパルボウイルス B19. レジデントのための小児感染症マニュアル 510-514 医学書院 2022
- 2) Young NS, et al.: ParvovirusB19. N Engl J Med 350(6):586-597,2004
PMID:14762186
- 3) 熊野浩太郎:ヒトパルボウイルス B19 感染症の様々な病態.
Jpn.J.Clin.Immunol. ,31(6) 448-453, 2008
- 4) Severin MC, et al.: Systemic lupus erythematosus and parvovirus B-19:
casual coincidence or causative culprit? Clin Rev Allergy Immunol. 2003
Aug;25(1):41-8. PMID:12794260